



株式会社 長大

人・夢・技術

2022年7月7日
株式会社 長大

株式会社南部町バイオマスエナジー 「バイオ炭の農地施用」による取組が J-クレジット承認されました

2022年6月30日、第50回 J-クレジット^(※1)制度承認委員会において、当社の子会社である株式会社南部町バイオマスエナジー(代表取締役 飯干貴久。以下「NBE」)がプロジェクト型方法論(AG004)である「バイオ炭の農地施用」に取組んだ結果、国内初の案件としてクレジット承認を受けました。

山梨県南部町で運営する「南部町バイオマス発電所」は、当社が山梨県南部町と「公民連携木質バイオマスガス化発電事業」に係る協定書を交わし、アルカディア南部総合公園スポーツセンター(住所:山梨県南巨摩郡南部町大和360)の敷地内に建設し、豊かな森林資源を有する南部町及び近隣地域から間伐材由来の木質バイオマス資源を調達して発電事業を行っています。

その発電事業の副産物として排出されるバイオ炭^(※2)を、山梨県南部町と静岡県富士宮市の農園の方々のご協力いただき、各農地にバイオ炭を施用、土壌への炭素回収・貯留を促進する取組を行いました。バイオ炭は土壌への炭素貯留効果とともに、土壌の透水性を改善する効果が認められている土壌改良剤でもあり、農作物の生育も良好だと好評をいただいております。



写真 1: バイオ炭



写真 2: 施用後の農園

NBE はその取組において、CO₂ 排出量の削減を行うプロジェクト(一般社団法人日本クルベジ協会「バイオ炭の農地施用による CO₂ 削減事業」)に参加し、この度、J-クレジットの承認を受けました。この取組は農業分野の方法論を用いた国内初めてのクレジットとなります。当社が作る再生可能エネルギーとバイオ炭 CCS^(※3)で新しい環境価値の創出、そして脱炭素社会へ貢献する第一歩となりました。

NBE が南部町で今後運営・計画している木質バイオマス発電事業において、引き続き年間 300t(予定排出量)のバイオ炭の生産が見込まれています。自然資本から創出されたJクレジットの環境価値の向上と発展、そしてそのクレジット効果によるサーキュラーエコノミー^(※4)の推進と農業支援につながるよう、当社は今後も再生可能エネルギービジネスを推進してまいります。

※1:温室効果ガスの排出削減量や吸収量をクレジットとして国が認証する制度。認証されたクレジットは売買可能で、環境貢献企業としての PR 効果、企業や製品・サービスの差別化、ブランディングなどに利用可能。

※2:「燃焼しない水準に管理された酸素濃度の下、350℃超の温度でバイオマスを加熱して作られる固形物(2019年改良 IPCC ガイドライン)」。

※3:Carbon dioxide Capture and Storage「二酸化炭素回収・貯留」技術。

※4:循環型経済。これまで破棄されていた製品や原材料などを「資源」と考え、リサイクル・再利用などで活用し資源を循環させる新しい経済システム。

■お問い合わせ

本件に関する報道機関からのご照会は、以下へお願い申し上げます。

<p>飯干貴久 (いいほし たかひさ) 株式会社長大 国内営業統轄部 国内営業企画部 部長 Eメール:iibosi-t@chodai.co.jp 電話:03-3532-8602</p>	<p>竹下光雄 (たけした みつお) 株式会社長大 国内営業統轄部 国内営業企画部 課長 Eメール:takeshita-mi@chodai.co.jp 電話:03-3532-8602</p>
---	--